

行政報告

令和 5 年 9 月 8 日
第 3 回 瀧上市議会定例会

本日ここに、令和5年第3回定例会を招集いたしましたところ、議員各位には、御出席を賜り誠にありがとうございます。

提出議案の審議に先立ち、第2回定例会以降の市政にかかわる主な事項の報告と、提出議案の概要について申し上げます。

はじめに、ごみ処理広域化について申し上げます。

令和3年9月、秋田県が策定した「秋田県ごみ処理広域化・集約化計画」では、本市、秋田市及び八郎湖周辺清掃事務組合を広域化ブロックとすることで、ごみ処理施設の広域化・集約化を推進し、持続可能な適正処理を確保する方針が定められており、関係市町村が主体となって検討するとされております。

このため、7月12日に本市、秋田市及び八郎湖周辺市町村の担当者による「秋田市・潟上市・八郎湖周辺清掃事務組合ブロック広域化研究会」を設置し、関係市町村におけるごみ処理の現状及び課題の洗い出しなどの協議を行っております。

今後も関係市町村等との連携を図りつつ、ごみ処理の広域化に向けた協議を進めてまいります。

次に、男鹿地区消防本部と湖東地区消防本部の統合に向けた検討状況について申し上げます。

人口減少を見据えた今後の消防力の維持・確保を図るため、昨年度から事務レベルでの「男鹿・湖東消防広域化研究会」を設置しており、広域化に向けた具体的な協議を行うとともに、

両消防本部の現状と課題、今後の人員配置や施設整備等について、引き続き調査・研究を進めてまいります。

次に、消防操法大会について申し上げます。

7月30日に大潟村で開催された男鹿潟上南秋支部消防操法大会において、本市代表として小型ポンプ操法の部に出場した昭和支団第1分団が見事優勝しました。

8月19日には、秋田県消防操法大会が由利本荘市で開催され、支部代表として昭和支団第1分団と潟上市女性消防隊が出場し、日頃の練習の成果を披露しました。

次に、新型コロナウイルスワクチン接種について申し上げます。

本市における秋開始接種は、個別・集団ともに10月1日から実施を予定しており、現在の流行主流株であるオミクロン株XBB.1.5に対応した1価ワクチンを用いることとしております。接種対象者は、初回接種を終えた生後6か月以上のすべての方であり、今後、接種券を順次発送いたします。

ワクチン接種を希望する市民の皆様が安心して接種を受けられるよう、医師会や医療機関と連携を図りながら、引き続き万全を期してまいります。

次に、企業誘致について申し上げます。

7月27日、東京都大田区に本社を置く「株式会社東横イン」と、本市へのホテル立地に関する基本協定を締結いたしました。

同社は、46都道府県で事業を展開し、年間宿泊者2千万人以上、客室総数7万室以上という、国内最大のホテル運営会社であります。

本市における宿泊施設の建設により、交流人口の拡大と観光振興が期待されるとともに、イベント開催時における域内経済効果が格段に上昇することに加え、大規模なスポーツ大会をはじめとする各種大会の誘致等も可能となります。

今後も本市へのホテル立地に向け、相互が協力し、円滑な事業推進に努めてまいります。

次に、観光イベントについて申し上げます。

8月6日に「第38回飯田川鷺舞まつり」が4年ぶりに開催され、若竹幼児教育センター園児による「孫鷺」、飯田川小学校児童による「子鷺」、そして水田の上を舞う鷺を優雅に表現した「親鷺」の舞が披露され、訪れた方々を魅了しました。

8月11日には「第55回八郎まつり」が開催され、八郎神社からの龍体御輿の練り歩きに始まり、メイン会場であるJR大久保駅前広場での八郎龍・辰子龍の双龍の出会いは、幻想的な世界を演出しました。

当日は、市指定無形民俗文化財である郷土芸能「新関ささら」の披露など、地域と一体となって行われたまつりに会場からは

大きな拍手が送られました。

本市夏まつりの最後を飾る「天王グリーンランドまつり2023」は、8月20日に開催され、市内外から約2万2千人の方々が来場されました。

当日は、キャラクターショーやヤートセ選手権のほか、放送作家である元祖爆笑王氏のプロデュースによる「お笑いフェス2023」など、子どもから大人まで幅広い世代が楽しめるイベントが繰り広げられました。

まつりの最後を飾る「花火ショー」では、約3,000発の花火が澄みきった夜空に大輪の花を咲かせ、訪れた多くの方々に大きな感動を与えることができました。御協賛並びに御協力をいただきました皆様に、心から感謝とお礼を申し上げます。

次に、不妊治療費助成事業について申し上げます。

市では、少子化対策の一環として、これまでの一般不妊治療費と特定不妊治療費における自己負担分に対する全額助成事業に加え、県が本年から実施している「秋田県先進医療等不妊治療費助成事業」に伴う自己負担分についても、新たに「潟上市先進医療等不妊治療費助成事業」による全額助成を7月から実施しております。

不妊治療費の助成については、多くの自治体において限度額が設けられていますが、本市では、安心して子どもを産み育てる環境づくりを推進するため、自己負担分を全額助成すること

により、治療方法の選択に伴う経済的負担の軽減を図ってまいります。

次に、通園バスによる無料送迎サービスの見直しについて申し上げます。

全園児の保護者を対象に実施した「園サービスにおけるアンケート調査」は、回収率約 88.7 パーセントで、無料送迎サービスをはじめ、市の子育て支援に対する御意見や御要望等が多数寄せられました。このうち、「送迎サービスがなくても通園できる」との回答が約 96 パーセントとなり、「園バスに係る費用を他の子育て支援サービスに振り向けて欲しい」とする回答が過半数を超える結果となりました。このことを踏まえ、来年度に向けて、一部の利用者に限られている送迎サービスを廃止し、園利用者の公平性が保てるような新たな支援サービスの導入を検討してまいります。

次に、民間事業者による新規保育施設の開設について申し上げます。

本市では、民間事業者の参入を推奨し、保育の受け皿の拡充に取り組むなど、待機児童の解消に努めており、来年度、出戸地区において、民間事業者の運営による新たな保育施設が開設する見込みとなりました。この保育施設の開設は、国の保育対策総合支援事業費補助金の対象となることから、関係予算を本

定例会に提出しております。

次に、公共施設の維持補修等に関する特定目的基金について申し上げます。

市では、公共施設総合管理計画に基づく公共施設の解体や集約化等を進めるにあたり、地方債を活用できない事業や施設規模による事業費の多寡から毎年度の事業量の平準化が困難になることを想定しております。このため、公共施設の解体や改修に係る一般財源所要額の増減を一定程度緩和し、健全で安定した財政運営を維持するため、今後、特定目的基金の設置を検討してまいります。

本定例会には、報告として、令和4年度潟上市健全化判断比率等ほか1件、議案として、潟上市印鑑条例の一部を改正する条例（案）ほか4件、令和4年度潟上市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、令和5年度潟上市一般会計補正予算（案）、各特別会計補正予算（案）6件、令和4年度各会計決算の認定、人事案件として、人権擁護委員候補者1名の推薦についての案件を提出しております。

以上が行政報告並びに本定例会に提出しております議案の概要であります。適切なる御決定を賜りますようお願い申し上げます。まして、私からの報告とさせていただきます。